

# 川口成彦

Early Music Series

音楽の愉しみ

フォルテピアノ・リサイタル

NARUHIKO  
KAWAGUCHI  
FORTEPIANO RECITAL

ショパンと同じ時代を生きた  
フォルテピアノで聴く、  
オール・ショパン・プログラム

©Fumitaka Saito

## PROGRAM

葬送行進曲 ハ短調 op.72-2 (遺作) The Funeral March in C minor, op.72-2

バラード 第1番 ト短調 op.23 Ballade No.1 in G minor, op.23

マズルカ 第18番 ハ短調 op.30-1 Mazurka No.18 in C minor, op.30-1

ポロネーズ 第4番 ハ短調 op.40-2 Polonaise No.4 in C minor, op.40-2

バラード 第2番 ヘ長調 op.38 Ballade No.2 in F major, op.38

マズルカ 第13番 イ短調 op.17-4 Mazurka No.13 in A minor, op.17-4

ワルツ 第2番 変イ長調 op.34-1 「華麗なる円舞曲」

Waltz No.2 in A flat major, op.34-1, "Valse brillante"

バラード 第3番 変イ長調 op.47

Ballade No.3 in A flat major, op.47

前奏曲 第15番 変ニ長調 op.24-15 「雨だれ」

Prelude No.15 in D flat major, op.24-15, "Raindrop"

夜想曲 第1番 変ロ短調 op.9-1 Nocturne No.1 in B-flat minor, op.9-1

バラード 第4番 ヘ短調 op.52 Ballade No.4 in F minor, op.52

マズルカ ヘ短調 op.68-4 (遺作) Mazurka in F minor, op.68-4

### 使用楽器

1843年製ブレイエル

(タカギクラヴィア株式会社所有)

協力:タカギクラヴィア株式会社

ショパン国際ピアノ・コンクール主催者の悲願  
「天才作曲家が生み出した本物の音楽を、同時代の楽器で蘇らせる」コンクール  
第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール(2018年)第2位!

2023. 3/11 (土) 2:00PM開演(1:30PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール  
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

発売日

芸術文化センターチケットオフィス

☎ 0798-68-0255

11/12  
土

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

10:00AM - 5:00PM  
月曜休み ※祝日の場合翌日

※窓口での販売(残席がある場合)は11/13(日)より

※未就学児はご入場いただけません。 ※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫県立  
芸術文化センター

関西から  
文化

# 世界が認める実力、人気沸騰中の古楽界の俊英・川口成彦



NARUHIKO  
KAWAGUCHI  
FORTEPIANO RECITAL

ポーランド政府とショパン・インスティトゥートの長年の悲願で実現した  
「第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール」で第2位を受賞！

©堀田力丸

世界的な音楽コンクール・最高峰のひとつ、「ショパン国際ピアノ・コンクール」。ポーランド生まれの作曲家兼ピアニスト、“ピアノの詩人”ことフレデリック・ショパン（1810年-1849年）の解釈者を発掘することを開催理念として掲げるこのコンクールは、ポーランド政府とショパン・インスティトゥートによって運営されています。彼らは、その理念から、「ショパンと同じ時代を生きた楽器でこそ、“本物の”音楽が蘇る」と信じ、古楽器でのコンクール開催を長年切望してきました。そしてついに2018年、ワルシャワで開催されたのが「第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール」です。ポーランド出身の若者たちが上位を占めたなか、第2位を受賞した唯一の外国人が、今回芸文センターに再登場する川口成彦だったのです！

満員御礼の神戸女学院小ホールを19世紀のポーランドへ誘った鮮烈な初登場は、2022年2月のこと。前回同様、今回のプログラムも、もちろんオール・ショパン・プログラムです！使用するフォルテピアノは、1843年製プレイエル（タカギクラヴィア株式会社所有）。「モダン・ピアノよりもリリカルでエモーショナルな表現を可能にする」ともいわれるフォルテピアノですが、小鳥のさえずりのようなきらきらとした高音域と、うなるような低音域の音質のギャップ、その多彩な音色を变幻自在に引き出すのは、演奏者の力量があってこそ。

ショパンと同じ時代を生きた楽器でもって、ショパンが作曲した当時の音を現代に蘇らせる——その行為は、まるで空間ごとタイムスリップする魔法のようです。芳醇な演奏は、さながらショパンの生きた時代への“音の旅”。俊英の奏でる“本物の”名曲の数々を、ぜひお楽しみください。

## 川口成彦

フォルテピアノ

Naruhiko Kawaguchi, Fortepiano

1989年に岩手県盛岡市で生まれ、横浜で育つ。第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。フィレンツェ五月音楽祭や「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭（ワルシャワ）をはじめとした音楽祭に出演。協奏曲では18世紀オーケストラ、{oh!} Orkiestra Historycznaなどと共演。2018年にはロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルをオランダにて開催。またモダンピアノでは2016年にアメリカにて世界的オーボエ奏者ニコラス・ダニエルと共にブランクの『オーボエ、バソンとピアノのための三重奏曲』の最終稿の世界初演を行っている。東京藝術大学/アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガールの各氏に師事。第46回日本ショパン協会賞受賞。第31回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。CDは『ゴヤの生きたスペインより』（MUSIS, レコード芸術/朝日新聞特選盤）などを発表している。

### 《チケットご購入のお客様へお願い》新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員（無料）へのご登録をお願いしております。

なお、お一人様2枚までとさせていただきます。

※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。

※マスクを着用されない方はご入場いただけません。（マウスシールド不可）

※感染の再拡大等により、公演の中止や、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブサイト掲載の〈当センターをご利用のお客様へ〉をご確認ください →



### アクセス

